



国際交流のひろば



vol.28

8月6日にアメリカとフランスから新たに国際交流員を迎えましたので、ご紹介します。



ハロー（こんにちは）！
国際交流員の**ジル**です。
文化国際室にいます。
よろしくお願いします。



皆さん、はじめまして。アメリカ国際交流員のジリアン・アダムズです。ジルと呼んでください。出身はアメリカのフロリダ州で、今回来日する前に2年間ハワイ州で大学院に通っていました。

生まれ育った場所はデルレイビーチという市です。フロリダに住んでいる日本人は少ないですが、日本とは100年ぐらい前から関わりがあります。フロリダの中で最初に日系移民が来たところで、京都府にある宮津市は姉妹都市です。日本の歴史や伝統文化に関する博物館もあり、私は子どもの頃から日本文化に触れる機会が多く、大学では日本語を専攻していました。姉も従姉も日本語

を勉強していて、日系人ではありません（実はユダヤ系）が私の家族は日本についてかなり興味を持っています。

大学時代に1年間大阪に留学をして、帰国後もできるだけ、半年ごとに日本に観光で来ていました。出雲大社にもお参りに行きました。その時の思い出が非常に美しく、今回出雲市に戻ることで最高に幸せです。日本で初めて社会人として働く場所が、出雲市で本当に良かったです。出雲市や日本全国の良い所を知つつ、皆さんにアメリカのことや私のユダヤ系の文化を紹介したいと思います。これからよろしくお願いします。

皆さん、はじめまして！フランスから来ました国際交流員リュウシ・ブルジョワです。出身はフランスの南西地方、オックシタニー州のロット県のレイム村ですが、大学生のときにはリール市とパリ市にも住んでいました。

私は、大学では、日本語学科で勉強していました。（パリで美術の専門学校にも通っていました。）日本語を勉強したきっかけは、中学生のころから新しい外国語を学ぶことが好きで、日本のマンガや黒澤明監督の映画等の影響で日本語と日本文化に興味を持ったからです。

また、日本への留学が2回あり、福岡にあるアンスティチュ・フランセ九州（フランス政府公式機関）で2年間働いたこともあります。数年間の日本滞在のおかげで、日本に深い興味を持ち、仕事の中で国際交流に貢献したくなり、人と人をつなげるパイプ役がしたいと思いました。今回、4回目

ボンジュール（こんにちは）！
国際交流員の
リュウシです。
観光課で働きます。
よろしくお願いします。



の来日ですが、出雲は初めてですから、とてもうれしくてわくわくします！出雲市に勤めさせていただいたことを本当にうれしく思います。

8月8日に出雲に到着した時、「末広がり」ということわざを知り、縁起も良く、出雲での新しい生活がうまくスタートできそうな気がしています。

これから出雲市観光課の国際交流員として、日本と海外の交流の掛け橋になり、出雲の魅力を海外の人へ伝えられるように一生懸命頑張ります。

皆さん、よろしくお願いします。

国際交流員は、国際理解教育の場などに積極的に参加し、地域の国際化のために活動しています。
おたずね／文化国際室 ☎21-6576・観光課 ☎21-6801

そば店 スタンプラリー

観光地、宿泊施設
レンタカー店でも
押せる!

開催期間
2018年11月1日(木)
～2019年2月28日(木)

※スタンプラリー台紙は
イメージです。

2018.11.1(木)
▼
2019.2.28(木)

出雲そば旅 フォトコン2018

開催期間 2018年8月1日(水)～2019年1月31日(木)

応募期間中に、出雲市内で撮影されたそばにまつわる
写真にハッシュタグ「#出雲そば旅フォトコン
2018」をつけてInstagramに投稿しよう!入賞
作品には豪華賞品プレゼント!

出雲 そば 旅

そば打ち 体験道場

参加費
1,000円

要予約

島根ワイナリー
2018年12月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)

ゆかり館
2019年1月26日(土)

湖畔の温泉宿くにびき
2019年2月3日(日)

島根ワイナリー
2019年2月9日(土)・10日(日)

出雲文化伝承館文化工房
2019年2月28日(木)

出雲そば旅ホームページ <http://soba.izumo-city.jp>

おたずね／神在月出雲そばまつり実行委員会事務局(観光課内) ☎ 21-6588 FAX 21-6585

出雲の伝統工芸「筒描藍染」

出雲市には、豊かな自然と歴史に育まれた多くの優れた伝統工芸があります。作り手の想いとともに出雲の工芸を紹介します。

今回ご紹介する伝統工芸品は、長田染工場で製作される「筒描藍染」です。筒描藍染は、もち米で作った糊を筒袋に入れ、絞り出しながら伝統的な模様や柄を描き、藍で染め上げていきます。この「筒描」の技法による藍染は、古くから嫁入り道具として風呂敷をもたせる風習のあった出雲地方では、大変重用され、現在は県の無形文化財にも指定されています。

伝統工芸品「筒描藍染」の特徴

防染効果のある、もち米で作った糊で模様を描きます。その後、糊を乾燥させ、染料に入れて藍色に染めあげ、糊を落とすと模様が浮かび上がります。筒描藍染の一番の特徴は、筒袋を使い、フリーハンドで描くため、模様の自由度が高く、さまざまな模様を描くことができることです。



美しい藍の色合いが目を惹きます。

全ての作業が職人による手仕事

染色と干しを繰り返し、20回程度染色を行います。藍染は蓼藍を使用した、天然発酵建ての染液で染め上げ、一つ一つの模様を手作業で描いているため、完成した製品は一点ものです。出雲地方に伝わる伝統的な模様と美しい藍色を楽しめます。



製作者 長田 茂伸 さん(左)
長田 匡央 さん(右)

製作者の想い

昔ながらの手作業で作る筒描藍染の作品は一点物です。風呂敷やのれん、テーブルセンター等を手がけております。それぞれの規格は一点からオーダーメイドを承っております。どうぞお気軽にご相談ください。文様に込められた想いや願い、そして奥深い藍の色合いをお楽しみください。

【店舗情報】

取扱店舗：長田染工場
住 所：出雲市大津町1109
営業時間：9:00～18:00
定 休 日：日曜日



手しごとマップHP

おたずね／商工振興課 ☎ 21-6541